

Press Release



秋田市立千秋美術館
AKITA SENSU MUSEUM OF ART

タグチアートコレクションは、実業家の田口弘氏、娘の美和氏の2代にわたって収集された、アメリカ・ヨーロッパ・中南米・アフリカ・アジア・日本など世界各地の現代アート作品からなる国内有数のコレクションです。

本展は、秋田県立美術館と秋田市立千秋美術館の2会場で、グローバルな視点で選び抜かれた、個性豊かな現代アートの世界を約100点により紹介するものです。展覧会タイトルにある「ミネバネ」は、「見なくちゃ」を意味する秋田の方言です。奈良美智、村上隆、マーク・クイン、キース・ヘリングら、グローバルに活躍する作家たちの見逃せない作品の数々を「自然の営み」「人間の営み」「モノクローム」「カラー」という4つのテーマに分けてご覧いただきます。

出品作家

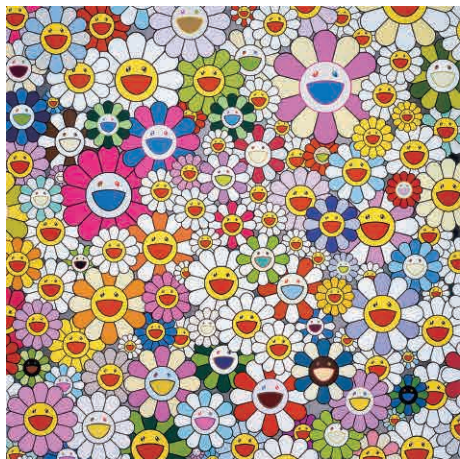
アローラ&カルサディーラ、ジョナタス・デ・アンドラーデ、ジョエル・アンドリアノメアリソア、青山悟、浅井裕介、ピーター・ブレイク、ステファン・ブルグゲマン、チャン・リーレン(張立人)、ホセ・ダヴィラ、ガーダー・アイダ・アイナーソン、エルムグリーン&ドラッグセット、ユージーン・スタジオ/寒川裕人、エキソニモ、サム・フォールズ、マーク・フラッド、五木田智央、カタリーナ・グロッセ、スボード・グプタ、ピーター・ハリー、ハム・キョンア、キース・ヘリング、N・S・ハルシャ、セクンディノ・ヘルナンデス、ダミアン・ハースト、ドナ・フアンカ、ラシード・ジョンソン、ハイヴ・カーラマン、金氏徹平、加藤泉、川俣正、セイドウ・ケイタ、鴻池朋子、キュンチョメ、ショーン・ランダース、ディン・Q・レ、ルー・ヤン(陸揚)、ベアトリス・ミルハーゼス、ジョナサン・モンク、ムン・キョンウォン&ジョン・ジュンホ、モリマサト(MUSTONE)、森村泰昌、ザネレ・ムホリ、ヴィック・ムニーズ、村上隆、オスカー・ムリーリョ、奈良美智、タミー・グエン、サミュエル・ノロム、大竹伸朗、大岩オスカル、オノ・ヨーコ、ジュリアン・オピー、オスジェメオス、エミリオ・ペレス、ロブ・プルイット、マーク・クイン、アンセルム・ライル、マリナ・ラインガンツ、トーマス・ルフ、エドワード・ルシェ、坂本和也、さわひらき、澤田知子、塩田千春、エリアス・サイム、ボスコ・ソディ、空山基、杉本博司、杉戸洋、鈴木ヒラク、高橋喜代史、田名網敬一、照屋勇賢、ハंक・ウィリス・トーマス、ミカリーン・トーマス、ガヴィン・ターク、グザヴィエ・ヴェイヤン、ケヒンデ・ワイリー、山田周平、山城知佳子、柳幸典

みどころ

■タグコレ過去最大規模。

巨匠から若手まで、現代アートの「今」を世界規模で概観

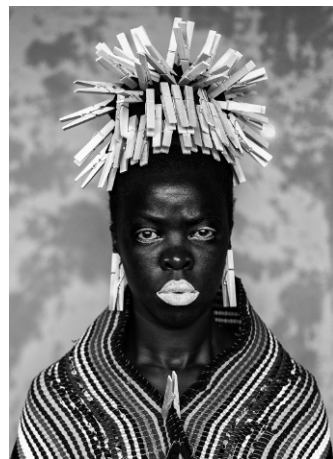
これまで美術館において13の展覧会を開催してきたタグチアートコレクション(タグコレ)史上過去最大規模となる総勢81組104点の作品を一堂に展示します。村上隆、奈良美智をはじめ、キース・ヘリング、ダミアン・ハーストといった現代アートの巨匠に加えて、マリナ・ラインガンツ(ブラジル)やザネレ・ムホリ(南アフリカ)、サミュエル・ノロム(ナイジェリア)、ルー・ヤン(陸揚)(中国)といった国際色豊かなアーティストたちの作品により、現代アートの「今」を体感していただきます。



村上隆《黄色い麦藁帽子の女の子》2010年
©2010 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.



奈良美智《コズミック》2007年
© YOSHITOMO NARA

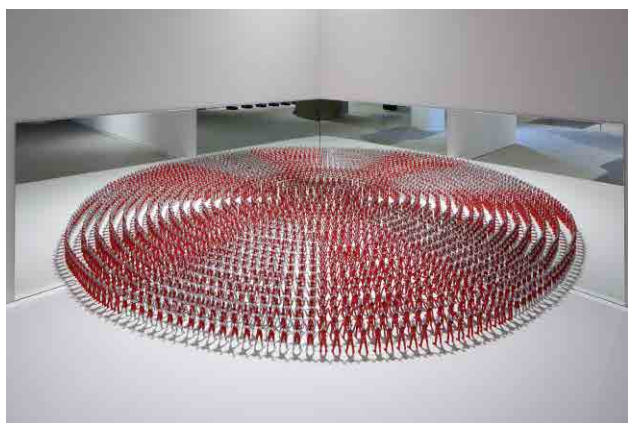


ザネレ・ムホリ《Bester I, Mayotte》2015年
© Zanele Muholi, Courtesy of Zanele Muholi;
Southern Guild, Cape Town/Los Angeles; and
Yancey Richardson, New York.

■コレクション収蔵後、初公開の作品を多数展示

出品作品104点のうち38点(展示作品34点、映像上映作品4点)がタグチアートコレクションへ収蔵後、初公開となります。多くの展覧会に出品されてきた人気作品だけでなく、世界中から集められた現在のアートシーンを彩る話題の作家たちの作品の数々により、拡大・充実し続ける「タグコレの神髄」をご覧ください。

なかでも、安藤忠雄の設計による秋田県立美術館の建築に合わせて制作されたグザヴィエ・ヴェイヤンの《Mobile n°1》は必見です。空気の動きや人の動きに応じて変化する、モビールの予測不可能な動きをお楽しみください。



柳幸典《パンザイ・コーナー 2020》1991/2019年
© Yukinori Yanagi, Courtesy of ANOMALY, Photo by Keizo Kioku



グザヴィエ・ヴェイヤンによる秋田県立美術館展示作品
《Mobile n°1》のためのドローイング

展覧会構成

秋田県立美術館会場

自然の営み

私たちは自然に囲まれて生き、時にその美しさに心を奪われ、時にその残酷さに打ちひしがれます。本章では、花や木、大地、空、海、そこで育まれる動物などの表現に着目し、作家たちの自然にまつわる多彩なアイデアとアプローチを紹介します。



大岩オスカル《冰山》2007年 © Oscar Oiwa

モノクローム

モノクロームとは、一色や単色を意味し、一般には白と黒、その階調であるグレースケールに用いられます。本章では、白黒を基調とした、独創性に富んだ30点を展示します。無彩色での表現に焦点を当てることにより際立ってくる、それぞれの作品の素材感やメッセージ性の違いをご覧ください。



塩田千春《存在の状態 (ドレス)》2013年
© JASPAR, Tokyo, 2025 and Chiharu Shiota



ガヴィン・ターク《Giraff》2021年
© Gavin Turk, Photo by Gavin Turk Studio

特別展示作品

本展に向けて制作されたグザヴィエ・ヴェイヤンの新作《Mobile n°1》がヴェイヤンの2体の彫刻作品とともに、秋田県立美術館のエントランスで皆さまをお迎えします。

ヴィック・ムニーズが藤田嗣治《家族》に基づいて制作した《Family after Foujita (repro)》が、常設の《秋田の行事》の前に展示されるのも、秋田ならではの試みです。

人間の営み

社会的な存在であり、他者との関わりの中で生き、家族、地域、国家など、様々な規模の集団の中で役割を担う人間。本章では、人種・民族・ジェンダー・宗教・経済など、人間の様々な営みへと繋がる作品を紹介します。



加藤泉《無題》2009年
© 2009 Izumi Kato, Courtesy of Artist
Photo by Ikuhiro Watanabe



ジョナタス・デ・アンドラーデ《Faca nos dentes (Knife in the teeth)》2022年
© Jonathas de Andrade, Photo: Ding Musa, Courtesy of the artist and Nara Roesler.

カラー

私たちが日常的に囲まれているさまざまな色は、心を癒したり、興奮させたりと、心理的な作用を及ぼします。抽象表現中心の本章では、作家が色を巧みに用いて制作した作品と鑑賞者が対峙することで生まれるコミュニケーションやそれぞれのストーリーを引き出します。



ベアトリス・ミルハーゼス《Tonga I》1994年 © Beatriz Milhazes

映像上映作品

秋田市立千秋美術館の講堂では、コレクションより選りすぐったムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ、山城知佳子、ルー・ヤン(陸揚)、チャン・リーレン(張立人)、キュンチョメによる映像作品6点を上映します。上映スケジュールの詳細は秋田市立千秋美術館ホームページでご確認ください。



チャン・リーレン(張立人)《バトルシティー1-台湾の栄光》2010-2017年
© Chang Li-ren, Courtesy of Chi-Wen Gallery and nca | nichido contemporary art

タグチアートコレクション

タグチアートコレクションは、ミスミグループ創業者の田口弘氏と長女の美和氏が収集した、世界各地の現代アート作品およそ750点（2025年3月時点）からなるアートコレクション。弘氏の「作品は人に見てもらってこそ意味がある」という思いから収集を続け、個人コレクションでありながらミュージアムピースと呼ばれる大規模な作品が多く含まれています。特定の展示会場はあえて所有せず、特に首都圏以外の現代アートを見る機会が少ない地域において、世界で活躍する同時代の作家たちの作品を鑑賞する機会を提供するため、積極的に展示を行っています。

夏休み 特別企画

プロジェクションマッピング holes and buildings (AKITA)

作家：金氏徹平（出品作家）
日時：8月15日（金）、16日（土） 各日とも午後7時～午後9時（荒天中止）
場所：秋田県立美術館エントランス前
観覧：無料
共同制作：山田晋平（舞台映像デザイナー）
主催：一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所

展覧会概要

- 会 期** 2025年7月19日（土）～9月7日（日） 会期中無休
- 開館時間** 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
秋田竿燈まつり期間中（8月3日～6日）は午前9時開館
- 会 場** 秋田県立美術館（秋田市中通一丁目4-2）
秋田市立千秋美術館（秋田市中通二丁目3-8）
- 主 催** タグチアートコレクション展実行委員会
（秋田県、秋田市立千秋美術館、秋田魁新報社、公益財団法人平野政吉美術財団）
- 後 援** A B S秋田放送、A K T秋田テレビ、A A B秋田朝日放送、エフエム秋田、C N A秋田ケーブルテレビ
- 企画協力** 公益財団法人公益推進協会 タグチ現代芸術基金、一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所
アート・オフィス・シオバラ
- 観 覧 料** 一般 1,500（1,200）円 大学生 1,000（800）円 高校生以下無料
※（ ）内は前売、20名以上の団体および障がい者割引料金
前売券販売所：さきがけニュースカフェ（エリアなかいち内）、秋田市立千秋美術館、カフェ光風（秋田県立美術館2階）、
県庁地下売店、ローソンチケット（Lコード21831）、セブンチケット（セブンコード110-069）
前売券取次所：秋田魁新報社県内支社・支局、秋田魁新報販売店
- プロジェクションマッピングのほか、会期中さまざまな関連事業を実施します。
詳細は、両館のホームページで順次公開します。

【展覧会に関するお問い合わせ先】

秋田市立千秋美術館 Tel：018-836-7860 Fax：018-836-7862 担当：米山茉未、菅沼楓
秋田県立美術館 Tel：018-853-8686 Fax：018-836-0877 担当：佐々木佳苗